

2021 年度 事業計画

はじめに

武蔵野美術大学は、1929年の帝国美術学校創立以来、「真に人間的自由に達するような美術教育」、「教養を有する美術家養成」を建学の精神とし、清新な創造力を持った美術家、デザイナーの養成に努めてきた。また、国内外に多くの優秀な人材を輩出し、わが国の美術・デザインの発展及びその教育研究における重要な一翼を担ってきた。

1999年に短期大学部の募集を停止し、同年に芸術文化学科、デザイン情報学科を新設して以降、4年制通信教育課程設置（2002年）、大学院博士後期課程開設（2004年）により、高度専門化する美術・デザイン領域の最先端を開くとともに、よりひろく社会の要請に応えた教育研究体制を整備してきた。

創立90周年を迎えた2019年には、こうした歩みをさらに進めるものとして、社会課題の解決や新たな価値創出などの社会的イノベーションに寄与する人材の育成を目指し、「クリエイティブイノベーション（CI）学科」を新設、造形学部を設置されていた映像学科とあわせて造形構想学部、大学院造形構想研究科を設置し、本学は開学以来はじめて2学部制をとることとなった。造形構想研究科には、本年度より博士後期課程を設置する。

施設設備の面では、キャンパスを南北に分ける「小平3・3・3号線」の敷設に伴い、グラウンド移転（2014年）、14号館（2016年、デザイン工房）及び15号館（2019年、CI学科校舎）の建設を進め、教育研究環境の拡充に努めてきた。2020年度には、7号館と8号館に付属するエレベーター棟、屋外作業場を新設し、バリアフリーの推進と制作施設の拡充を図った。さらに、より効率的・効果的な教育研究活動の展開のために、16号館の建設を行うとともに、デザイン系学科の使用施設の再配置について検討を進めている。

また、新学部・新研究科と同時に開設した市ヶ谷キャンパスについては、社会との連携を拡大し、現代における造形教育の有用性を実践的に示す場所として、建物全体を実験的共創スペースと位置付け、ソーシャルクリエイティブ研究所（RCSC）を設置し、良品計画との共創スタジオ「MUJIcon 武蔵野美術大学市ヶ谷キャンパス」を設けている。本年度からはCI学科3年生が利用を開始するとともに、六本木で活動していたデザイン・ラウンジの機能を移転し、美術・デザインの情報発信拠点としての機能を集約・強化する。

一方で、本学発祥の地である吉祥寺校については、建物の老朽化や通信教育課程の運営等を総合的に判断し、2023年度末をめどに閉校とし、鷹の台・市ヶ谷キャンパスへの機能移転を行う。

教育活動の面では、全世界で新型コロナウイルスが猛威を振るうなか、本学は「ムサビ生の学びを止めない」「コロナ禍により学びを断念する学生を出さない」という基本方針を定め、教育研究活動を敢行した。前者については、オンラインにおける学修方法の開発を通じて、教育効果を高める工夫を最大限行うとともに、前期授業のオンライン化と学事予定の大幅な変更を実施した。実習を重視する美術大学において、オンライン教育の導入は大きな挑戦であったが、通信教育の実績も踏まえ、これまでの学びの見直しと新たな教育手法の開拓の機会として積極的に取り組みを行った。後者については、学生の学修と生活を支える経済的支援として、学費の延納措置をはじめ、緊急学修支援金、緊急貸付金、緊急対応給付型奨学金等の支援措置を行った。

本年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の徹底と十全な教育研究活動の両立、学生支援の継続を行っていく。同時に、新たな社会変革が生まれようとしているなか、美術教育の持っている可能性を最大化し、これからの社会において真に価値創造を行える人材の育成を目指していく。

本年度における重点項目

2021年度は第1次中長期計画（第二期）の最終年にあたる。中長期計画で掲げた戦略的構想及び事業構想を踏まえ、次の9項目を重点課題とする。

1. 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の徹底と、オンライン等を併用した円滑な授業運営の両立を図るとともに、学生に対する継続的な経済支援を実施し、学生の学びを保障する。
2. これからの美術教育に求められる情報メディア教育の基盤形成を担う機関として「情報教育センター」を設置、運営する。
3. デザイン系学科を中心とする鷹の台キャンパスの効率的・効果的な運用に向けて、全学的な再配置計画を推進、実行する。
4. 2023年度を目途とした通信教育課程の移転に向けて、前項3と連動して、通学課程との連携・協力体制の構築に向けた準備を行う。
5. 新型コロナ状況下（コロナ下）での学生生活の模索とキャリア支援活動の強化。とりわけ3年次を迎えるCI学科のキャリア支援と受け入れ先の新規開拓を行う。

6. 多様な拡がりをもった「美術大学の姿」を正確に伝え、早期から美術・デザイン領域を志望する既存の志願者層の増加と、CI学科を活用した新たな志願者層の開拓に向けた二軸での広報活動を強化する。
7. デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進し、業務効率化と働き方改革を進める。
8. 市ヶ谷キャンパスでの共創活動、社会人向け教育事業など、大学の枠を超えた新たな事業創出を推進し、戦略的に対応する事業法人を組織する。
9. 100周年事業本部及び各委員会等を中心として、2022年度からの第2次中長期計画の策定、100周年構想、100周年事業計画大綱の策定に向けた検討を行う。

テーマ別事業計画

上記重点項目に基づくテーマ別事業計画は以下のとおりとする。

1. 教育研究活動、教育の質保証
 - (1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の徹底と、オンライン等を併用した円滑な授業運営の両立。
 - (2) 「情報教育センター」の開設と運営。
 - (3) CI学科3年生の市ヶ谷キャンパスカリキュラムの開始と造形構想研究科博士後期課程初年度に伴う体制整備・対応。
 - (4) 通信教育課程の新教育課程の円滑な運営及び2022年度に新課程において開講される授業科目の準備。
 - (5) 教育改革に向けた教育モデルの検討、PDCAサイクルの検証。
2. 教育研究等環境
 - (1) 施設設備利用の効率化に向けた7号館・8号館・10号館再配置計画の推進。
 - (2) 9号館における個人研究室の再配置及び大学院の研究環境の整備。
 - (3) 7号館及び9号館の照明・空調設備、美術館設備の改善。
 - (4) 市ヶ谷キャンパスの耐震補強含めた改修工事の実施。
 - (5) コロナ下での教育に対応できるネットワーク環境の強化。
 - (6) 通信教育課程機能移転に向けた具体的な計画の策定、実施。
3. 学生支援
 - (1) LiveCampusのモバイルアプリ化による学生の利便性向上と学修サポートの強化

- (2) 緊急対応給付型奨学金の充実と教育ローン利子補給制度の継続募集。
- (3) 国の補助金政策変更に伴う武蔵野美術大学奨学金規則の改正。
- (4) 課外活動の再開と芸術祭の実施に向けた検討・準備。
- (5) 作家及び起業志望の学生に向けた進路プログラムの刷新。
- (6) CI学科のキャリア支援実施と受け入れ先の開拓。
- (7) 新型コロナウイルスの状況を踏まえた国際交流事業の実施。

4. 学生の受入、広報・IR活動

- (1) 多様な拡がりをもった「美術大学を正しく伝える」をテーマとした広報・募集活動。
- (2) 既存学科志願者層の掘り起こし、CI学科カリキュラムの実例を介した認知度の向上。
- (3) 対面方式、オンライン方式のハイブリッド型募集活動の構築。
- (4) 入学手続きシステムの導入。

5. 研究支援・社会連携推進、美術教育の普及、美術文化の振興

- (1) 国内・海外研修補助制度及び個人研究費の在り方の検討。
- (2) キャンパス間でのプロジェクトの有機的連携の促進。
- (3) 公開講座の多角化とリカレント教育への対応。
- (4) デザイン・ラウンジ活動の機能移転による美術・デザイン教育普及と文化振興活動の推進。
- (5) 大学連携・地域連携・高大接続の協定に基づく連携事業の実施と戦略的な連携先強化。
- (6) 社会連携活動、教育事業を基軸とした大学外事業への取り組み。

6. 美術館・図書館

- (1) 前年未実施分も含めた展覧会活動等の充実による情報発信機能やアーカイブ機能の強化。
- (2) 教育研究資源としての保有資産の棚卸しと整理。
- (3) 学術資料としての民俗資料の有効活用及び適切な民俗資料室の在り方の検討。
- (4) 新型コロナウイルスの状況に応じたサービスの提供。
- (5) 所蔵品紹介や図書館利用ガイダンス等の動画コンテンツ拡充。
- (6) 資産管理、蔵書登録・整理のさらなる継続と収集方針の明確化。
- (7) 大学の知的情報インフラとして社会変革を見据えた、新たな美術館・図書館の在り方の模索。

7. 法人・大学運営

- (1) 第2次中長期計画の策定及び100周年構想、事業計画大綱に向けた検討。
- (2) 学長や学部長の選任手続き等を含めた教学ガバナンスの検討。
- (3) DX推進による業務効率化、リスク回避・分散、働き方改革の促進。
- (4) 専任職員の新人事評価制度の実施と2022年度からの制度改革に向けた検討。
- (5) 厳正な予実管理と分析による、より合理的な財務計画の策定、検討。
- (6) 管理会計手法を用いた財務分析・基盤整備。
- (7) 内部調達関連運用のレビューと資産運用規則改正の検討。
- (8) 戦略的事業法人の組織化と事業創出。

以上